

「個別の教育支援計画」作成・活用について
ー聴覚支援学校通級指導教室よりー

2022年12月19日

大阪府立生野聴覚支援学校
リーディングスタッフ 小学部 大峠 由紀江

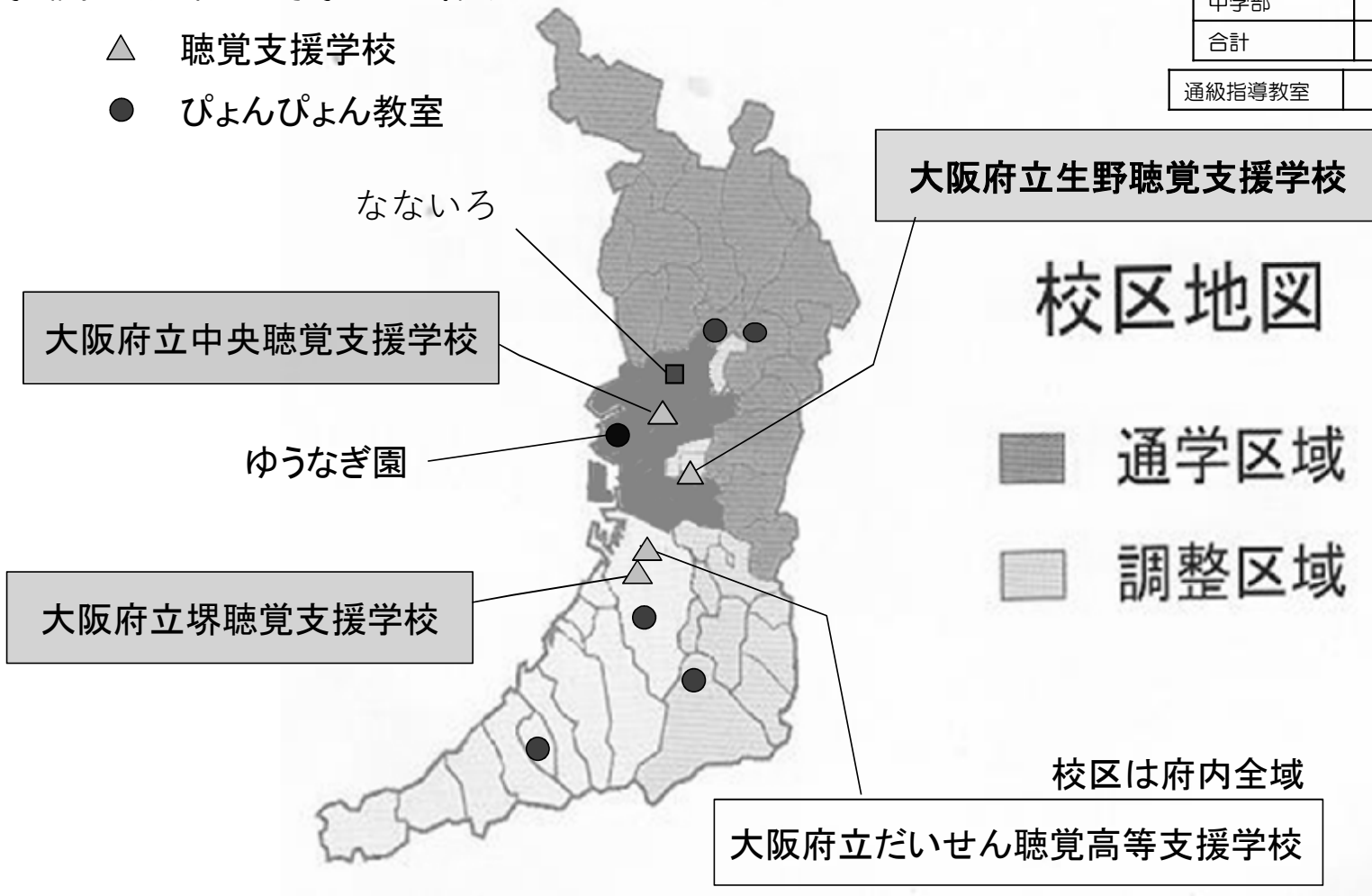
本日の内容

- ① 学校紹介
- ② 個別の教育支援計画・個別の指導計画
- ③ 通級指導教室について
- ④ 支援・指導の実際
- ⑤ 本人の様子(変化等)

①学校紹介

聴覚支援学校の現状 通学区域割

- △ 聴覚支援学校
- ぴよんぴよん教室



幼児・児童・生徒数
令和4年度

	幼児児童生徒数(名)
幼稚部	39
小学部	50
中学部	26
合計	115

通級指導教室	30 (小18、中12)
--------	--------------

校区地図

- 通学区域
- 調整区域

校区は府内全域

本校の教育方針

日常生活に必要な言語力を育成する。

一人ひとりの障がいの状況に応じた
確かな学力を育成する。

将来の自立・社会参加に向けて
必要な力をつける。

②個別の教育支援計画・個別の指導計画

本校の個別の教育支援計画

- 幼・小・中と切れめのない支援
- 指導・支援については、自立活動及び学校生活全般で取り組んでいる。

- 医療・福祉等との連携

*作成の手順

- 本人保護者の要望を聞く。(年度初めの懇談や家庭訪問)
- 1年間の支援目標、手立てを設定する。
- 1学期の懇談で保護者に説明。追加や変更があれば記入する。
- 年度末に評価を行い、成果、改善すべき内容、引継ぎ事項を記入する。
- 学年末懇談で、保護者に説明する。

(例) 様式4.教育的ニーズと支援内容
 様式1.成育歴 様式2.障がいなどの状況
 様式3.関係機関との連携協力・支援ネットワーク
 様式4. 教育的ニーズと支援内容 で構成。

【小学部教育】

長期的な視点（8年程度）からみた教育的ニーズと支援内容

小学部の目標	(1)明るく元気な子 (2)進んで学ぶ子 (3)自分で考え行動できる子 (4)互いに協力し合える子	
年度（1年生） 担任：		
本人及び保護者の希望（ニーズ）	生活について	
	学習について	
	進路・その他	
支援目標	<input type="checkbox"/> 支援目標	日付 保護者印
手だて・評価	<input type="checkbox"/> 手だて	
(成果、改善すべき内容、引継ぎ事項等を記入)	評価の実施時期： 年 月 日 (評価者：)	日付 保護者印
年度（2年生） 担任：		
本人及び保護者の希望（ニーズ）	生活について	
	学習について	
	進路・その他	
支援目標	<input type="checkbox"/> 支援目標	日付 保護者印
手だて・評価	<input type="checkbox"/> 手だて	
(成果、改善すべき内容、引継ぎ事項等を記入)	評価の実施時期： 年 月 日 (評価者：)	日付 保護者印
年度（3年生） 担任：		
本人及び保護者の希望（ニーズ）	生活について	
	学習について	
	進路・その他	
支援目標	<input type="checkbox"/> 支援目標	日付 保護者印
手だて・評価	<input type="checkbox"/> 手だて	
(成果、改善すべき内容、引継ぎ事項等を記入)	評価の実施時期： 年 月 日 (評価者：)	日付 5 保護者印

本校の個別の指導計画

・小学校の教育課程に準ずる指導内容を個に応じた計画で実施している。(一般学級)

各教科 ※各教科の指導単元については、指導単元一覧表に記載。 ※各学期の評価については、あゆみに記載。

教科名	観点	年間指導目標	指導内容・手立て		評価
			前期	後期	
国語	①関心・意欲・態度 ②読み・書く能力 ③書く能力 ④読み能力 ⑤言語についての知識・理解・表現	①読書を楽しむ。物語に心を打たれて丁寧に書く。 ②正しい語彙の使いかたを身につける。	①正しい音や形を認識するよう練習ができる。 ②読解したことや自分の考えを2～3文で表現させる。		
算数	①関心・意欲・態度 ②数学的思考力	①ブロックの操作を通して、加減算の意味がわかるようになる。 ②日常生活の中で時刻を覚えるようになる。	①計算の過程を説明できるようにブロックなどの教具を用いるように促す。計算カードを用いて繰り返し練習する機会を設ける。		
生活	①関心・意欲・態度 ②社会や自然についての理解・表現 ③身近な産業や社会についての気づき	①自然に興味を持ち、同じことを表現できるようにする。	①身近な自然の観察をし、草花を育て、季節な言葉を用いて表現させる。		
図工	①関心・意欲・態度 ②想像や創造の能力 ③創造的な表現力	①紙工の製作を楽しむ。②線や点の使い方の基本を学ぶ。③友だちの絵を見ていいところを褒める。	①工程のルールを守りながら創意工夫を凝らす。②クレパス、はさみ、のりを使い方の基本を学ぶ。		
体育	①関心・意欲・態度 ②運動や健康・安全についての理解・表現 ③運動の技能 ④健康・安全についての知識・理解	①ルールや決まりを守って、基本動作や身体の動きを学ぶ。	①ダンスや体操やストレッチを通して、基本動作や身体の動きを覚えられるようにする。		
音楽	①関心・意欲・態度 ②音楽的な表現や表現の工夫 ③音楽表現の技能 ④鑑賞の能力	①楽しく音楽にふくみ、音楽に対する興味・関心をもち、リズムの強い音楽やリズムのゆるい音楽を感じられるようにし、曲の流れに合った表現ができるよう指導する。			
道徳	①心として自分自身に関すること ②心として人とのかかわりに関すること ③心として集団や社会とのかかわりに関すること ④心として生活や自然、出来事などのかかわりに関すること	①1年生になった喜びや喜び、学校生活を楽しむ。②成長生活の楽しみを知る。	①友だちや先生と学校生活を楽しく過ごす。②いろいろな体験をさせる。③学校や社会でのまじりを体験したり自分で考えるようにする。		

・障がいの状況に応じた指導を実施している。(重複学級)

各教科 ※各教科の指導単元については、指導単元一覧表に記載。 ※各学期の評価については、あゆみに記載。

教科名	観点	年間指導目標	指導内容・手立て		評価
			前期	後期	
国語	①関心・意欲・態度 ②読み・書く能力 ③書く能力 ④読み能力 ⑤言語についての知識・理解・表現	①国語や算数や理科を覚える。②国語や算数に興味を持ち、ひらがなや漢字の読み書きができる。	①国語や算数や理科を覚える。②国語や算数に興味を持ち、ひらがなや漢字の読み書きができる。	①国語や算数や理科を覚える。②国語や算数に興味を持ち、ひらがなや漢字の読み書きができる。	①国語や算数や理科を覚える。②国語や算数に興味を持ち、ひらがなや漢字の読み書きができる。
算数	①関心・意欲・態度 ②数学的思考力	①算数や算術の学習をすることを喜び、興味関心を持つ。②10までの数の正確にわかるようになる。	①算数や算術の学習をすることを喜び、興味関心を持つ。②10までの数の正確にわかるようになる。		
生活	①関心・意欲・態度 ②社会や自然についての理解・表現 ③身近な産業や社会についての気づき	①身近な自然や産業、まじりものや自然を通して、自然に興味を持つ。	①身近な自然や産業、まじりものや自然を通して、自然に興味を持つ。		
図工	①関心・意欲・態度 ②想像や創造の能力 ③創造的な表現力	①画工の活動に楽しく参加する。②自分の思いを表現する。	①画工の活動に楽しく参加する。②自分の思いを表現する。		
体育	①関心・意欲・態度 ②運動や健康・安全についての理解・表現 ③運動の技能 ④健康・安全についての知識・理解	①ルールや決まりを守って、基本動作や身体の動きを学ぶ。	①ルールや決まりを守って、基本動作や身体の動きを覚えられるようにする。		
音楽	①関心・意欲・態度 ②音楽的な表現や表現の工夫 ③音楽表現の技能 ④鑑賞の能力	①楽しく音楽にふくみ、音楽に対する興味・関心をもち、リズムの強い音楽やリズムのゆるい音楽を感じられるようにし、曲の流れに合った表現ができるよう指導する。			
道徳	①心として自分自身に関すること ②心として人とのかかわりに関すること ③心として集団や社会とのかかわりに関すること ④心として生活や自然、出来事などのかかわりに関すること	①1年生になった喜びや喜び、学校生活を楽しむ。②成長生活の楽しみを知る。	①友だちや先生と学校生活を楽しく過ごす。②いろいろな体験をさせる。③学校や社会でのまじりを体験したり自分で考えるようにする。		

自立活動

教科名	観点	年間指導目標	指導内容・手立て		評価
			前期	後期	
自立活動	①健康の保持 ②心理的な安定 ③人間関係の形成 ④環境の把握 ⑤身体的動き ⑥言葉・コミュニケーション	①経験したことや感じたことを言葉で、丁寧に伝えられるようになる。	①朝の会や朝の会で、学校生活の目標や決まりを伝える。②朝の会や朝の会で話せるようになる。③朝の会や朝の会で話せるようになる。		
聴能		①聴覚に注目し、話を聞く態度を身に付ける。 ②リスニングや、ことばあそびや音遊びを通して「聞く」楽しさを覚える。	①興味を持って話を聞いて、口元や表情を見たり聞いたりさせる。 ②音の強弱やリズムを感知させる。③音の強弱やリズムを感知させる。		
発音		①発音の練習を通して、発音の楽しさを覚える。 ②生活や遊びを通して、発音を覚える。 ③正しい発音と発音した声で発音できる。	①音読や発音練習を通して、発音の楽しさを覚える。 ②生活や遊びを通して、発音を覚える。 ③正しい発音と発音した声で発音できる。		

自立活動

教科名	観点	年間指導目標	指導内容・手立て		評価
			前期	後期	
自立活動	①健康の保持 ②心理的な安定 ③人間関係の形成 ④環境の把握 ⑤身体的動き ⑥言葉・コミュニケーション	①深呼吸やストレッチ、手遊びや歌を通して伝えられるようになる。 ②朝の会や朝の会で話せるようになる。 ③朝の会や朝の会で話せるようになる。	①朝の会や朝の会で話せるようになる。 ②朝の会や朝の会で話せるようになる。 ③朝の会や朝の会で話せるようになる。		
聴能		①聴覚に注目し、話を聞く態度を身に付ける。 ②リスニングや、ことばあそびや音遊びを通して「聞く」楽しさを覚える。	①興味を持って話を聞いて、口元や表情を見たり聞いたりさせる。 ②音の強弱やリズムを感知させる。③音の強弱やリズムを感知させる。		
発音		①発音の練習を通して、発音の楽しさを覚える。 ②生活や遊びを通して、発音を覚える。 ③正しい発音と発音した声で発音できる。	①音読や発音練習を通して、発音の楽しさを覚える。 ②生活や遊びを通して、発音を覚える。 ③正しい発音と発音した声で発音できる。		

③通級指導教室について

障がい発見

聴覚活用を促し、コミュニケーションやことば、学力や社会性を育て アイデンティティーの確立をはかる！

社会人



コンサルティング部門

- 市町村福祉部との連携と支援
市町村の支援体制、指導者研修などへの助言
- コーディネート
支援機関や相談機関の紹介、フォローアップなど
- アセスメント
聴覚障がい、言語発達に課題がある子どもの教育的アセスメント（聴力測定、言語発達検査など）
「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」作成助言



大阪府立生野聴覚支援学校

通級指導教室

幼稚部 小学部 中学部



専門的指導支援部門

- 個別支援
聴力測定 聴覚活用、言語発達検査後の支援、
発音・発語指導など
- 学習支援
聴覚・言語障がいに配慮した学習支援方法の紹介と指導
＜幼児相談支援＞
ちようちよ組（3～5歳 難聴児）
こっこ組（3～5歳 重複障がい児）
＜学習支援＞
通級指導教室（小・中学生）
障がいのある児童生徒への指導
体験学習、体験入学、交流



地域相談支援部門

- 教育相談
- 子育て相談
- 研究会や授業などへの講師派遣
- 聴覚・言語障がいに関する専門講座開催
- 保育所、幼稚園、小・中・高等学校などへの支援
巡回相談、指導者への学習や教材についての相談、進路に関する相談助言、研修協力など
- 学校見学や参観
- 病院、療育機関との連携支援
聴力測定の情報や補聴器の調整などについての連携
聴覚理解・言語理解を配慮したかかわりについての連携、
研究協力など



いくの聴覚言語支援センター

I-DIC

Ikuno Deaf Instruction and support Center

コンサルティング部門

地域相談支援部門

専門的指導支援部門

校内支援部門

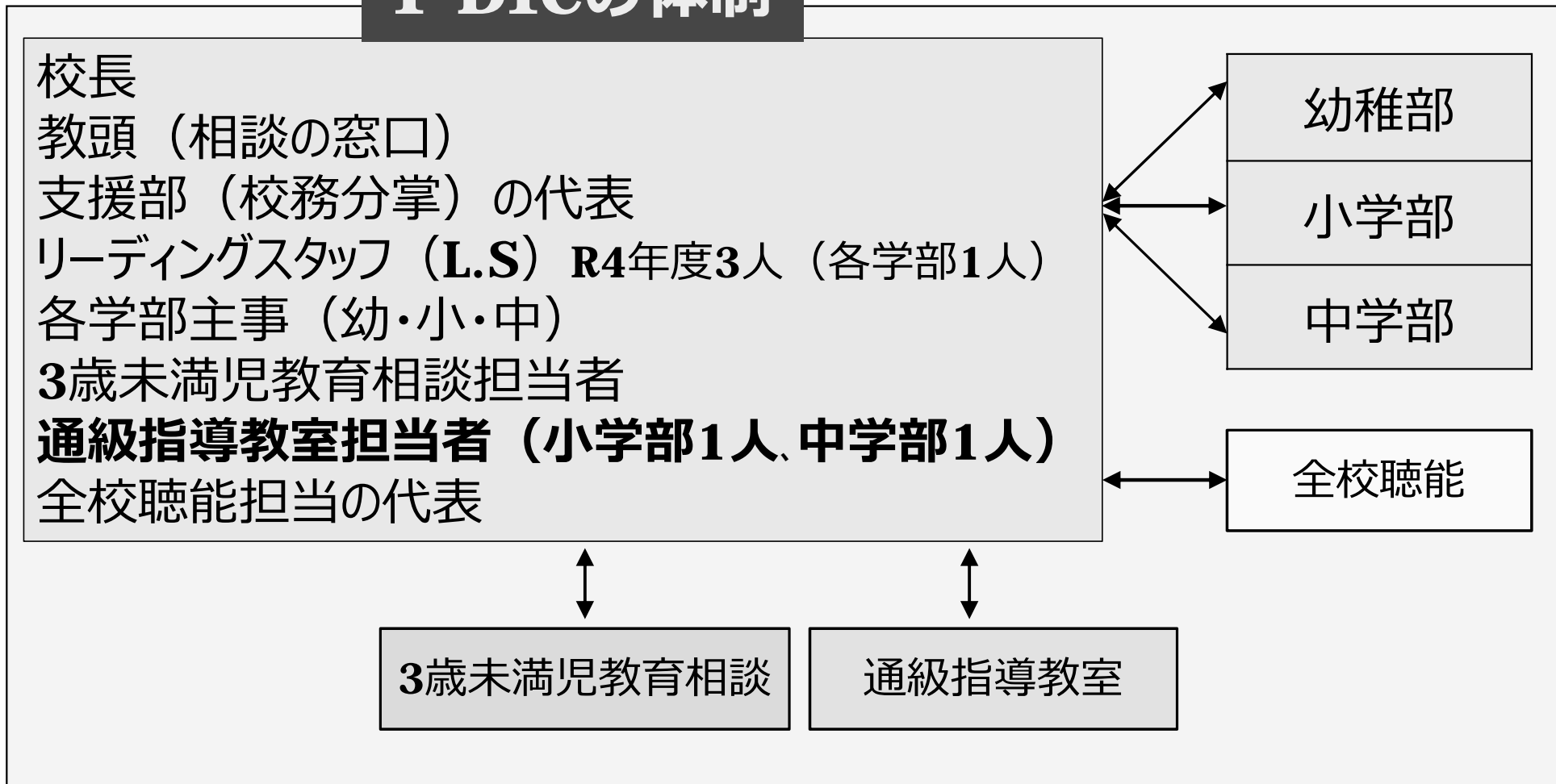
校内支援部門

- ※校内指導者の教育力向上、全校の連携体制の充実を図り、一貫性のある専門的な支援を目指す
- 研究会、研修会の実施
聴力測定、聴覚管理（人工内耳や補聴器装着）、聴覚活用、
言語発達、発音指導、聴検査
- 教育力向上のための支援
聴覚障がい教育に関する個別相談と連携体制作り
研究授業の指導案作成助言、授業後の評価と助言
- 支援を要する子どもの実態把握とアセスメント、
保護者相談
実態把握、聴検査、病院・訓練機関の紹介
「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」作成と評価



本校HPより

I-DICの体制



通級指導教室の役割

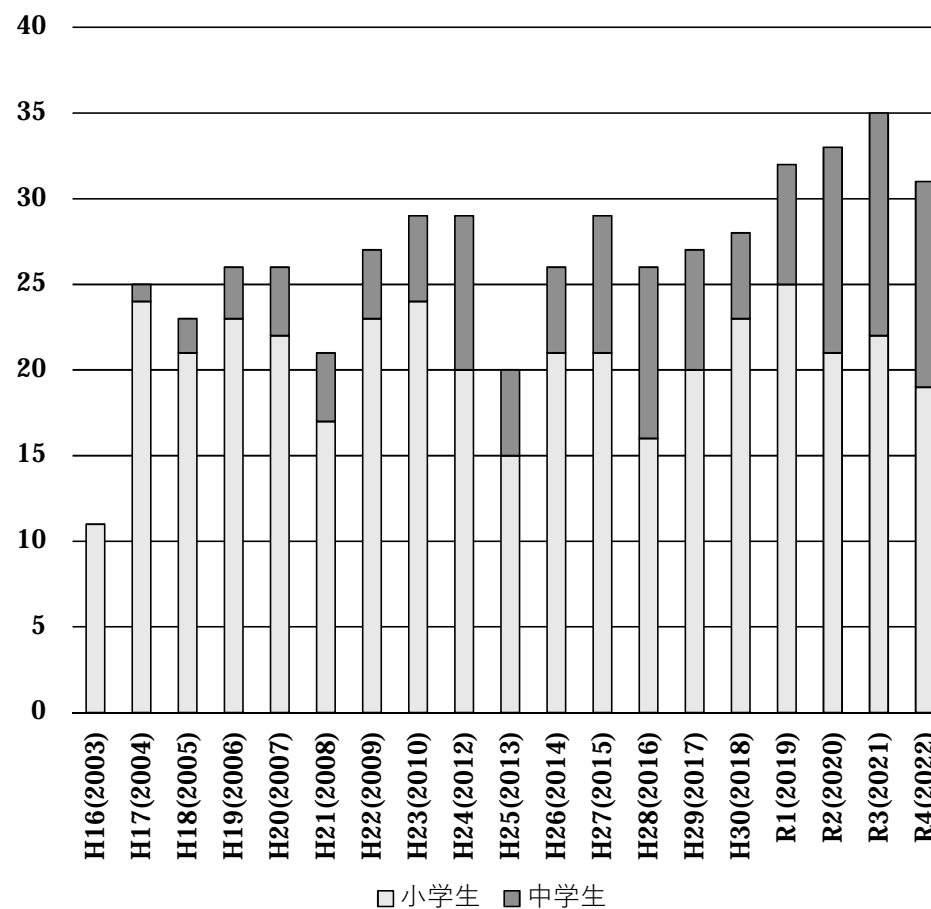
目的

障がいに基づく困難を改善できるように支援する。

- 1 子どもの指導
- 2 保護者への支援
- 3 在籍校・学級担任との連携
- 4 支援教育のセンター校として

通級指導教室の児童、生徒数の推移

	小学生	中学生	合計
H16(2003)	11	0	11
H17(2004)	24	1	25
H18(2005)	21	2	23
H19(2006)	23	3	26
H20(2007)	22	4	26
H21(2008)	17	4	21
H22(2009)	23	4	27
H23(2010)	24	5	29
H24(2012)	20	9	29
H25(2013)	15	5	20
H26(2014)	21	5	26
H27(2015)	21	8	29
H28(2016)	16	10	26
H29(2017)	20	7	27
H30(2018)	23	5	28
R1(2019)	25	7	32
R2(2020)	21	12	33
R3(2021)	22	13	35
R4(2022)	19	12	31



通級による指導日及び時間

☆ 指導時間:

個別指導(小・中学部45分)

保護者に対する支援(15分程度)

☆ 時間帯:

1時間目(14:15~)

2時間目(15:15~)

3時間目(16:15~)

☆ 回数

週1回 隔週1回 月1回 の何れかを選択

*保護者、担任への支援等も随時行っています。

④支援・指導の実際

通級による指導の内容

- (1) 自己理解と、障がいに基づく
困難の改善・克服
- 指導内容(主に自立活動)
 - 発音・発語学習(構音の改善にかかわる指導など)
 - 聴覚学習、聴覚管理(補聴器、デジタル補聴援助システムを含む)
 - 言語指導(ことばの学習)
 - 自己理解(自分のきこえや障がいを正しく受け止める)
 - コミュニケーションに関すること(手話、指文字を含む)
 - 教科の補充的学習 ○その他

(2) 集団活動の提供

- おもな活動
- 「お楽しみ会」の開催 ○合同学習
- 体験学習(本校に進学予定の子どものみ)
- 修了式(修了証書+ろう教員の話聞き)

(3) 在籍校で、より充実した 学校生活が過ごすために

- 活動内容
- 在籍校への学校訪問
(音環境調査や授業の様子を見学、助言)
- 通級教室への授業参観(在籍校の教員対象)
- 指導に関する相談
個別の教育支援計画、個別の指導計画作成の連携
- 在籍校での教職員向けの研修会
- 在籍校児童、生徒への障がい理解授業

在籍校との連携

- 学習状況の報告
- 担任等、通級による指導の参観と懇談
- 在籍校への訪問、教室の音環境の調査
授業参観、懇談
- 個別の教育支援計画作成についてのアドバイス
- 個別の指導計画の作成(連携)

○学習の記録

	学習の内容	学習の状況
聴覚学習 ことばの学習	①あいさつ ②通級メモの記入	・「これから 通級の 勉強を 始めます 礼」(口話と手話) ・日時、電圧チェック。「からだはげんきです」
発音発語学習	③母音の練習	・ 口形表の口をお手本に母音の発音。 ・自分の口を鏡で見ても形を意識しました。形がきれいになり明瞭な発音ができています。 ・母音を長くのばしたり、同じリズムでの発音。2語3語と数を増やすと後の音が不明瞭になることがあります。 ・「母音」「口行」「口段」等の言葉を復習しながらリズムよく発音しました。
聴覚学習 発音発語学習	④さすせその練習	・ サ行の「さすせそ」の発音練習。 子音の「S」は舌先を下歯裏にふれ、上歯裏との隙間を作り、その間から息を出すと「S」音になります。 ・ストローをまじしたのせ、舌とうわばで軽くはさんで息を出します。 ・幼稚園で習ったことがある練習を思い出し、とてもきれいな「さすせそ」が発音できました。 ・(宿題)家でも毎日練習をしましょう。
ことばの学習	⑤ひとまごめにしたことば	・ 絵を見て名前を答える。書く、読むを含む。 ・果物は(ぶどう・すいか・はなな・いちご・さくらんぼ)正しく答えて書くことができました。 ・好きなくだものは？の質問に「ぶどうとすいか」と答えました。 ・楽器の(はーもにか)の説明を「大きい音から小さい音まである。大きさはふつう、形はながしかく。小さい穴がいっぱい開いていて、口をつけて吹くと音が出る。」と考えながらできました。 ・たんぱりん、かすたねっと、は聞いてから正しく書くことができました。
聴覚学習		
ことばの学習	⑥あいさつ	・「これで 通級の 勉強を 終わります れい」

○連絡事項 次回までの課題等 (次回通級日7月2日(月)2時15分～3時)

- ・課題内容は以上の通りです。
- ・先週の音韻の圖にサ行音が真になりましたので上記の練習をしました。本児も集中して練習できました。学校や家でもきれいに発音できた者には紙の通級とは別にほめてあげてください。
- ・英語の持ち帰【国語の教科書】

○小学校からの連絡

- ・クラスの代表で6年生に向け「わたしたちが作ったあいうえおのうたです。」と上手に言っていました。事前に「し」が小さかったので「わたし」を練習しました。
- ・音楽発表会に向け、『うみ』『かたつむり』の歌も大きな声で歌っています。
- ・来年度に向け、少しずつ先の学習を始めています。(2の倍数、6の倍数など)「に、し、ろー」と、発音をしっかりと行ってから書けるように練習をしています。

通級指導教室利用時の教育相談結果

- 在籍校へ、きこえや発音に関する調査結果をもとに、支援について、所見、意見を報告する。
- 在籍校での指導の参考にしている。

通級指導教室教育相談結果報告		
通級入級希望の児童生徒の教育相談における面談・調査の結果を下記のとおり報告いたします。		
市立 小学校		
年 組	児童名	実施日 令和 年 月 日
<p><きこえに関する調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・純音聴力測定：平均聴力レベル(補聴器装着) 右 dB (dB) 左 dB(dB) (人工内耳) ・補聴器：右 左 ・今年4月よりロジャーを使用している。 ・ことばのきき取りでは、「あ・き…」のような単音で静かな時は80%の正答率だったが、雑音があると50%になった。騒音下ではかなりのきき間違える音がある。静かな環境が望ましい。 <p><発音に関する調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単音の調査では、清音、濁音、半濁音、拗音の101音について調査を行った。 ・概ね正しく発音できていたが、た行きざ行が拗音化することがあり、「き」→「ひ」「ぬ」→「にゅ」「りゅ」→「ゆ」等に置換していた。 ・ことばの発音調査においては、概ね発音できるが「ぶどう」→「うどう」の置換があった。 ・時の音読では、音を続けて発音しがちで、1音1音がはっきりしなかった。 <p><所見></p> <ul style="list-style-type: none"> ○聴覚を活用しながら、発音の学習やことばの学習も合わせて行う必要がある。 ○集中力を伸ばしたり、自分の思いを言葉で伝えたりする支援も必要である。 <p><意見></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 定期的な聴覚管理が必要である。 ② 通級指導が必要である。 ③ 在籍校との連携が必要である。 		
保護者の通級希望の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	初回指導予定日 月 日 ()

通級指導教室の個別の指導計画(例)

○小学1年生の個別の指導計画の一例

- ・発語発音学習、聴覚学習、ことばの学習
- ・繰り返し続けること
- ・家庭や在籍校と一緒に取り組むこと

○子どもに合わせた内容

- ソーシャルスキルトレーニング
- 自己理解
- 教科の補充(英語、音楽、算数など)

通級指導計画 () 11 月

☆	11/1日()	8日()	21日()	28日()	日()
① あいさつ 通級化	手話と口話 手話まかく 補聴器の使い方	"	"	"	"
② 発語発音 学習 ・しゃがみとあう ・わたりあう	あいうえおの発音 母音の口形 教科書の発音 い列、お音の押置 絵カードの発音	あーいーえーおー あーいーえーおー 教科書の発音 お音の発音 絵カード	あーいーえーおー あーいーえーおー 教科書の発音 お音の発音 絵カード	あーいーえーおー あーいーえーおー 教科書の発音 お音の発音 絵カード	
③ 聴覚学習 ・よく聞いて書く ・リズムにあわせて うたう	あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー	
④ 言語学習 ことばに興味をも たう ・考えたことばを うたう	あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー あーいーえーおー	
⑤					
⑥ あいさつ	手話と口話	"	"	"	"
<宿題>	あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー	
配布資料 準備物			あーいーえーおー あーいーえーおー	あーいーえーおー あーいーえーおー	
本	えいちゃん				

通級による指導の1年間の報告

- 在籍校は個別の指導ファイルに閉じ、今後の指導方針作成に活用している。

令和 3 年度 通級による指導の記録

児童・生徒名	第 学年 組											
通級指導期間	令和3年5月 日 ~ 令和4年3月 日(年 11 回 曜日)											
指導形態	週 0.25 単位時間 (午後3時15分 ~ 午後4時00分)											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通級予定日数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
通級した日数	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	1	11
備 考	<p>【聴覚学習】○20単音節のきき取り調査 ○聴力測定</p> <p>【発音発語学習】○きゃきゅきょ・ぎゃぎゅぎょ、しゃしゅしょ・じゃじゅじょ音の練習 ○い列音の練習 ○詩、早口言葉の音読 ○国語の教科書音読</p> <p>【ことばの学習】○同音異義語 ○自動詞他動詞 ○詩を作る ○作文 ○さかさことば ○ダジャレ、なぞなぞ ○教え歌 ○英語のフォニックス読み ○漢字の読み</p> <p>【障がい認識】○手話(挨拶) ○いろいろな気持ち ○紙はなぜしかるか ○注意のはたらきについて ○自分を振り返ろう</p>											
所 見	<p>・平均聴力レベル(装用閾値): 右 (人工内耳) 左 (補聴器)</p> <p>特に大きな変動は見られなかった。</p> <p>・ことばの聴き取り調査【20単音節】(提示音圧65dB、ノイズなし・あり65dB) 明瞭度: 静寂下75% 雑音下35% 静寂時でも、ね⇒れ、は⇒か、などのきき間違いがあった。雑音下では、きき違いが増した。</p> <p>・「きゃきゅきょ」「ぎゃぎゅぎょ」「しゃしゅしょ」「じゃじゅじょ」の発音練習に取り組み、意識して明瞭に発音できた。各子音の発音や、特にい列音の練習に取り組み、明瞭に発音できた。詩を味わったり早口言葉を丁寧に音読したりすることができた。</p> <p>・ことばあそびの面白さを理解した。</p> <p>・英語の読み方をフォニックス読みで学習することに興味を持てた。</p> <p>・同音異義語や自動詞他動詞や漢字の読みなどをよく理解して取り組んだ。</p> <p>・テーマについて思いつくことをもとに詩を作ったり作文をしたりすることができた。</p> <p>・ソーシャルスキルトレーニングで、「注意する」にはどうしたらいいか考えた。また、自分や周りの人の気持ちに気づけたり、自己を振り返って話したりすることができた。</p>											

⑤本人の様子(変化等)

通級指導教室に通う子どもたちの困りについて

- 補聴器やロジャーがあったら大丈夫! ではない。
教員も友だちも、補聴器があればきこえていると思っている。
⇒きこえにくくて困った状況になった時にどうしたらいいかわからない。
- 授業がわからない。
自分がきこえにくいからわからない、と思っていない。
⇒問題は語彙力の弱さ。学習言語が少ないため、説明がわからない。

*ロジャー=デジタルワイレス補聴援助システム

子どもたちの困りについての対応

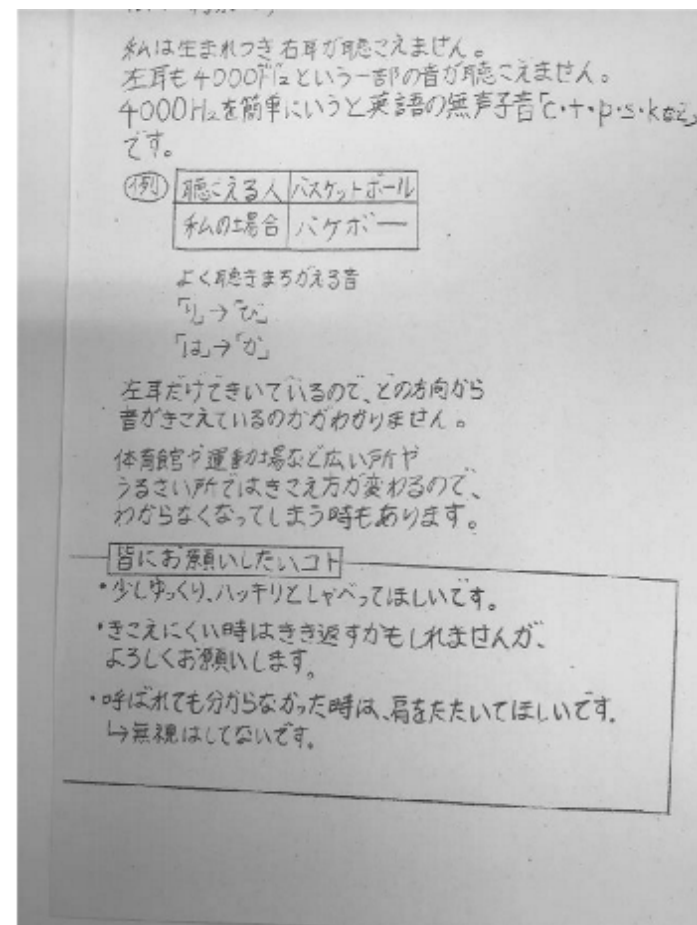
- ・自分のきこえについて話す。
きこえにくい時にどうしてほしいかを伝える。
- ・どんな音がきこえにくいのか？
苦手な音、きこえやすい音を理解する。
- ・どんな支援や配慮があれば、うまくいくかを「知る」。
- ・語彙を増やすための工夫をする。

通級による指導によってできるようになったこと

- きこえにくいことによる学習上または生活上の困難を改善、克服しようとする姿勢

自分の困りを意識し、周りに伝えることができる。

自分のしたいことを実現させようとする意志を持つ。





ご清聴ありがとうございました